
競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は 2026 年度日本陸上競技連盟競技規則および本競技会申し合わせ事項により実施する。

2. 受付

- (1) 8 時 00 分から受付を開始する。各チーム代表者が受付をすること。
- (3) 受付の際に、プログラムとアスリートビブスを配布する。配布したアスリートビブスは回収しない。
- (4) プログラムの記載内容（氏名、フリガナ、学年、所属等）の訂正は T I C（大会総案内）で訂正用紙を記入して提出すること。

3. 招集について

- (1) 招集は 100m スタート付近の器具庫前で行う。
- (2) 各種目の招集完了時刻は、プログラム競技日程記載のとおりとする。
- (3) 招集所ではアスリートビブス、スパイクピンのチェックを行う。
- (4) 代理人による招集は認めない。
- (5) 棄権する場合は、本人または代理人が必ず競技者係に申し出ること。
- (6) 招集完了時刻に遅れた競技者は当該競技を棄権したものとみなす。

4. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスはそのままの大きさと胸と背部に確実に固定すること。ただし跳躍競技に関しては、胸または背中いずれか 1 枚つけるだけでも良い。
- (2)トラック競技に出場する競技者およびリレーのアンカーは、腰ナンバーをパンツ右側の上部やや後ろにつけること。腰ナンバーは招集所で配布する。なお腰ナンバーを受け取っただけでは、招集完了としないので注意すること。

5. 競技方法について

(1)トラック競技

- ①レーンはプログラム記載の順とする。
- ②危険防止のため短距離走では、フィニッシュライン通過後もしくはバトンパス受け渡し後も必ず自分の割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
- ③100m、80mハードル、リレー第 1 走者のスタートはクラウチングスタートのみとする。スターティングブロック使用の有無については選択できる。60m のスタートは、スタンディングまたはクラウチングいずれも可とする。
- ④予選のあるトラック競技の決勝の組合せおよびレーン順は招集所の掲示板にて発表する。
- ⑤リレー控え選手は「友好男女 100m」のレースに出場することができる。希望するチームの監督は大会本部まで申し出ること。締め切り時間は 9 時 40 分とする。なお、「友好男女 100m」に出場した選手はリレー決勝には出場できない。予選通過チームの決勝における競技者変更は、傷病等の理由により競技参加が困難であることを大会医務員が判断し、大会総務が認めた場合に限る。

(2)リレー競技

- ①リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻 1 時間前までに招集所に提出すること。なお、オーダー用紙を提出しただけでは、招集完了としない。招集完了時刻までに招集所で招集を受けること。
- ②テークオーバーゾーンは 30m とし、その中で次走者の加速スタート、バトン渡しを行うこと。
- ③リレー競走の競技者は、大きさが最大 50mm×400mm の粘着テープ（マーカー）を 1 箇所、自身のレーン

内に貼ることができる。次走者のつけたマーカーは、走り終わった前走者が必ずはがすこと。

- ④リレーメンバーは当初エントリーしたメンバーのみが出場でき、同じ団体の他チームからメンバーを入れることはできない。

(3) コンバインド競技

【共通】

- ①記録に得点をつけて2種目の合計得点で順位を決定する。得点は『JAAF 小学生コンバインド種目得点表（2022年度版）』による。
- ②得点は、男女とも同一の得点表を使用する。
- ③レーン及び試技順はプログラム記載の順とする。
- ④スタートまたは試技を行わない場合は、棄権とし0点とする。
- ⑤最初の種目で棄権した競技者は、2種目目には出場できない。
- ⑥2人以上の競技者が同じ得点をとった場合は同成績（同順位）とする。
- ⑦80mハードル、走幅跳において、風速は計測するが得点・順位に影響しない。

【80mハードル】

- ①80mハードルは、ハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからフィニッシュまで11mとする。

【走幅跳】

- ①走幅跳の試技は2回とする。

【走高跳】

- ①跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとする。背・腰から落下した場合は無効試技となる。
- ②2回連続して試技を失敗した時点で競技終了とする。
- ③バーの上げ方は以下のとおりとするが、当日の天候や選手状況により練習の高さを含め変更することもある。

練習の高さ	1	2	3	4	5	...
90cm	90cm	95cm	1m00cm	1m05cm	1m10cm	以後3cmずつ

【ジャベリックボール投】

- ①ジャベリックボール投の試技は2回とする。
- ②ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。
※羽だけを持って投げたり、回転して投げたりすることは禁止する。
- ③ジャベリックボール投の助走距離は15m以内とし、一投ずつ計測する。（2連投ではない）
- ④ジャベリックボールは主催者が準備したものを使用する。

6. 表彰について

- (1)各種目（友好男女100mを除く）第1位にはメダルと賞状、第2位～第8位には賞状を授与する。
- (2)表彰式は結果発表後30分後にメインスタンド前で行うので、集合すること。

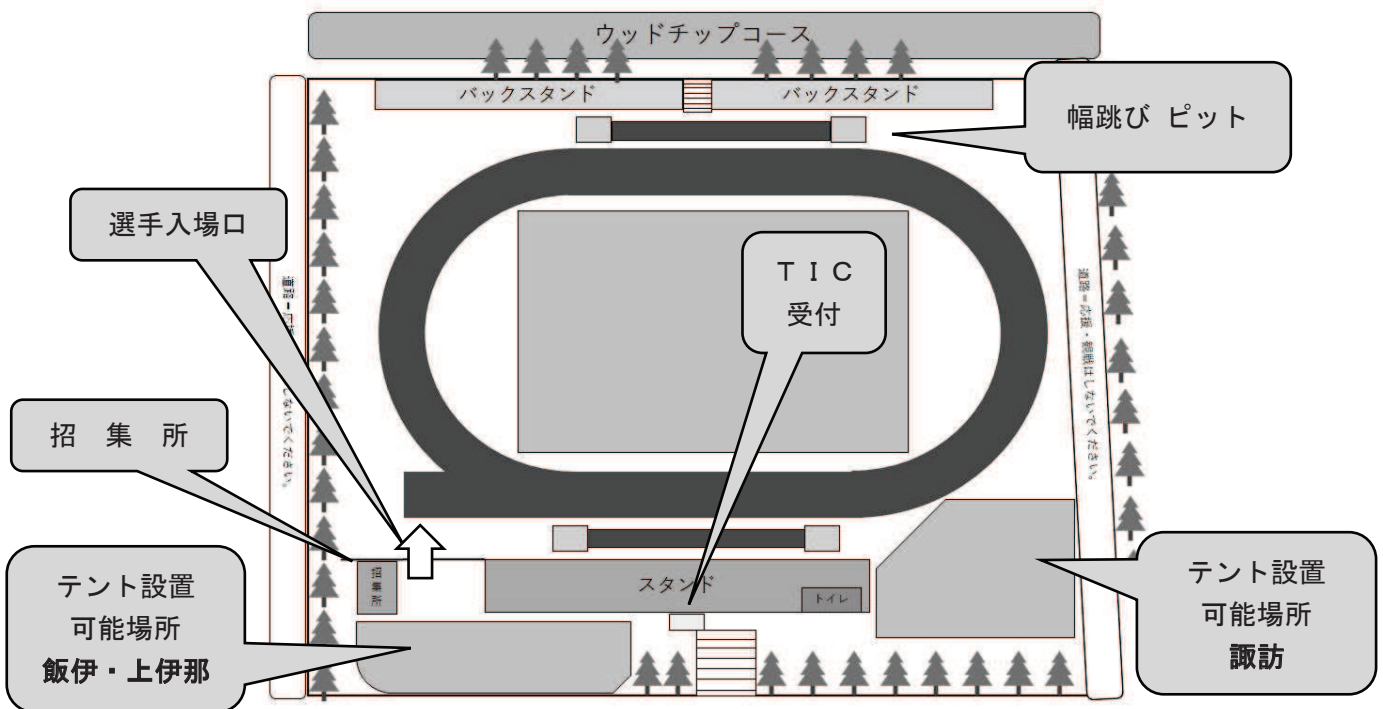
7. 県大会申込みについて

- (1)各種目上位8位までの者（リレー8チーム）で県大会出場希望者は、表彰式後にTICにて申し込みを行う。参加料1人1,000円（傷害保険料含む）を添えて申し込み手続きを行うこと。
- (2)県大会出場を辞退する場合は、TICに申し出ること。
- (3)県大会の4×100mRのエントリー選手は、南信小学生大会のエントリー選手からの変更や追加エントリーは認められない。
- (4)陸連登録がお済でない選手は、早急に登録をすること。

8. その他

- (1) 競技者、チーム関係者(1名)及び競技役員のみが競技エリアへ入ることができる。コーチングエリアでの助力のみ可とする。高跳び・ジャベはフィールドの内にコーチングボックスを設置し、幅跳びはバックスタンドから可能とする。短距離トラック種目では、スタプロ設置がうまくできない選手がいるかと思います。生徒指導上手を貸す場面もあるかと思いますが、設置でき次第助力を中止してください。
- (2) アスリートビブスを取り付けるための安全ピンは各自で用意する。(10円で販売しています。)
- (3) 競技場は全天候舗装につき、スパイクピンは9mmを超えてはならない。走高跳は12mmを超えてはならない。小学生のスパイク使用は可とする。素足での競技は禁止する。
- (4) ウォーミングアップは競技場内の空いている場所で行う。その際、係員の指示に必ず従うこと。競技場周辺の道路でのアップは禁止する。
- (5) 競技会中の傷害及び疾病に対して、主催者は応急処置と加入傷害保険の範囲内での対応とし、それ以外の責任は負わない。
- (6) 競技結果はTIC付近に掲示をする。また、長野陸協HPの速報を見てください。
- (7) 選手の控え場所はメインスタンド裏のスペースに設置できる。バックスタンド裏のウッドチップコースは一般利用者のジョギングコースのため、控え場所にはしないこと。
- (8) ゴミは必ず持ち帰ること。
- (9) 個人情報取り扱いについて。参加申込書に記載された個人情報は、大会運営・上位大会への手続きにのみ使用する。

場内案内図



<利用上の注意>

- ・バックスタンド裏のウッドチップコースは一般利用者のジョギングコースのため、控え場所にはしないでください。
- ・テント設営の際はゆずりあってご利用ください。
- ・テントが強風で飛ばされないようしっかりと固定してください。
- ・競技場内での練習については、役員の手指示に従って行ってください。
- ・道路での応援・観戦はしないでください。